

20 HOT STARTUP IN INDIA

世界が注目! インド・スタートアップ20選

A LOGISTICS

DELHIVERY
デリヒブリー

www.delhivery.com



EC向け物流サービス。2010~11年のインドEC勃興期に乗じて急成長、1.2億ドルを調達。高度なシステムの提供もウリ。2011年創業。



金融インフラの整っていない新興国ほど、FINTECHの恩恵は大きい。インドの農村部や地方では銀行の支店やATMは少なく、銀行口座をもつ国民は全体の6割ほど。クレジットカードの普及率が5%以下といわれる。いまだ現金取引が中心のインドにおいて、決済手段として普及し始めているのが「Paytm」。スマートフォンのアプリなどを使い、実店舗での買い物、携帯電話代や公共料金の支払、また送金もできる。銀行口座がなくても、現金でのデポジットが可能だ。利用者は日本の人口と並ぶ1億2,000万人、月間トランザクションは9,500万件。

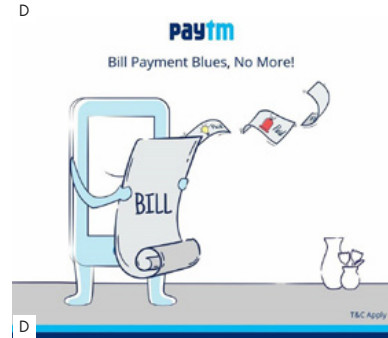
D FINTECH

ONE97 COMMUNICATIONS
ワン97コミュニケーションズ

www.one97.com



インドの電子決済最大手。モバイル決済プラットフォーム「Paytm」を運営するユニコーン。アリババなどが出資。2000年創業。



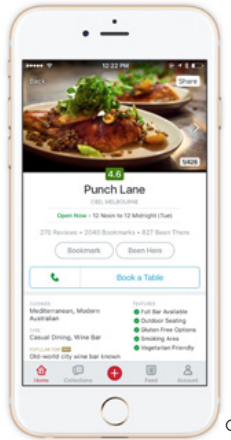
C SOCIAL

ZOMATO
ゾマト

www.zomato.com



レストラン検索&レビューサイト。国外拠点は5つあり、インド発ECのユニコーンとしては黒字化する最初の企業と目される。2008年創業。



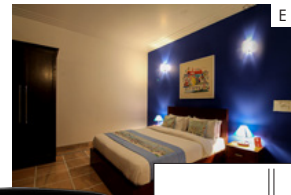
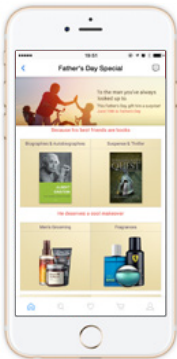
B EC

FLIPKART
フリップカート

www.flipkart.com



企業価値110億ドル（国内最大）、インド・ユニコーンの筆頭。当日・翌日配送、30日保証、代引を導入した国内ECの草分け。2007年創業。



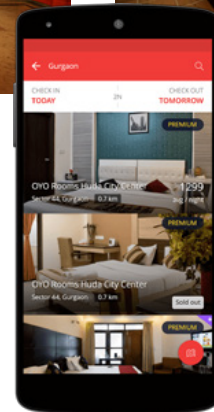
E EC

OYO ROOMS
オヨールームズ

www.oyorooms.com



低価格ホテル予約サイト。厳しい基準を満たしたホテルにのみOYOブランドを与え、サイト掲載。CEOは22歳、調達額225億ドル。2013年創業。





DRUVA

ドゥルーバ

www.druva.com



シリコンバレーで急成長中のインド発クラウド型データ保護企業。全世界4,000社以上にサービス提供。日本法人も。2008年創業。



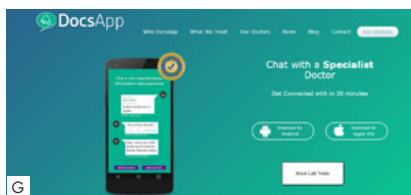
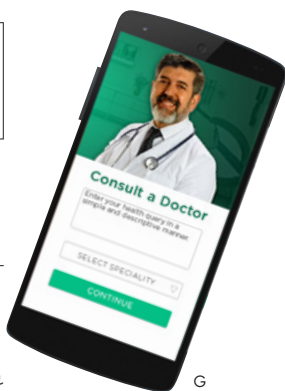
DOCSAPP

ドックスアップ

www.docsapp.in

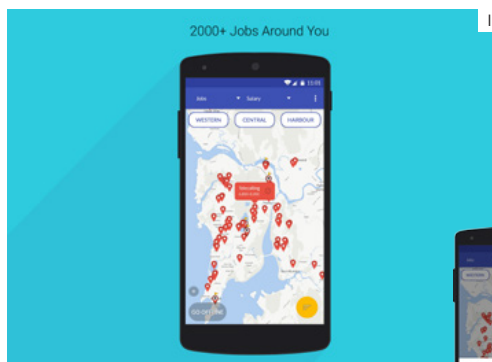


医師によるオンライン診察、それにもとづく薬の注文や検査予約までできる医療アプリ。調達総額1,200万ドル。2013年創業。



G

インドの医療インフラは問題山積。ゆえに医療にまつわるスタートアップが多く生まれており、インドのヘルスケア企業1,100社のうち半分は、ここ5年の間に創業したとされる。主要な問題のひとつは、地方や農村部の絶対的な病院・医師不足。この社会課題の解決を目指すのが「DocsApp」だ。彼らによると、72%の健康問題はオンライン診断で対処できるという。現在500人以上の医師が登録しており、平均15分以内に診察可能。チャットや写真の送信などで診断を受けたあとは、ワンタップで薬が買えたり、3,000を超える提携検査機関が予約できる。



WORKINDIA

ワークインディア

www.workindia.in



スマホの位置情報をもとに、工場・技術系の人材と企業をマッチングするマーケットプレイスを提供。BEENEXTなどが出資。2015年創業。



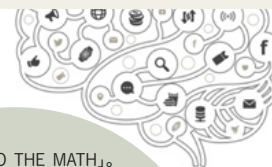
MU SIGMA

ミュージグマ

www.mu-sigma.com



ビッグデータ解析の大手。在インド3,500名のデータサイエンティストが消費者動向などを即時解析。調達総額2億ドルのユニコーン。2004年創業。



社は「DO THE MATH」。世界のトップ大学や大学院を卒業した優秀な人材が、日本や欧米諸国と比べると低コストで分析業務にあたるという「オフショア型」のメリットを生かす。MU SIGMAは彼らを「データサイエンティスト」ではなく「ディシジョン（意思決定）サイエンティスト」と呼ぶ。米ウォルマート、マイクロソフト、ファイザーを含め、世界の有力企業「フォーチュン500」のうち140を超える企業を顧客にもち、大企業の意思決定を左右する高度な分析を担う。現CEOは創業者である夫の会長就任に伴い現職となった Ambiga Dhiraj (40)。



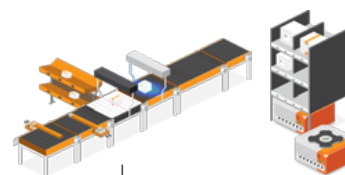
GREYORANGE

グレイオレンジ

www.greyorange.com

GREYORANGE

物流倉庫に特化したロボット技術メーカー。仕分けロボ「ソーター」と搬送ロボ「バトラー」で昨年から世界市場にも進出。2011年創業。





DIPTAB VENTURES
ディップタブベンチャーズ
www.letstransport.in



オンラインで24時間手配できる
BtoB/BtoCトラック物流サービス
「Letstransport」を運営。正確さ、安
さ、簡易なUIで急成長。2015年創業。

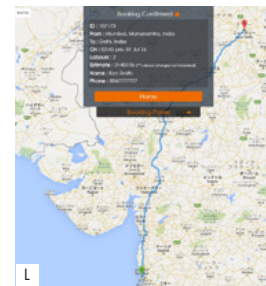
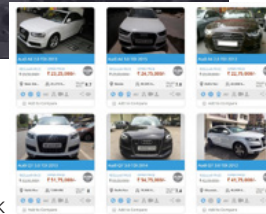


DROOM
ドゥールーム
droom.in



インド最大の新車・中古車マー
ケットプレイス。二輪から中古車へ
の乗り換え動向に乗じて急成長。
4,300万ドルを調達。2014年創業。

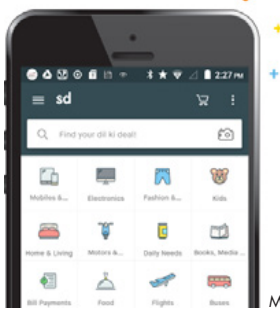
経済成長に伴いインドの自
動車市場が好調だ。とくに中古車販
売台数の成長率は新車を上回り、12年には
販売台数ベースで同規模となったと試算されて
いる。中古車購入は二輪からの乗り換え層が6割を
超えるとされ、中間層の拡大が顕著だ。この波に乗
るサービスのなかでも最大手がDROOM。個人、デー
ラー、ブローカーが入り交じるマーケットプレイスだ。
モバイルとの親和性、評価やレビューはもちろん、
信頼性を担保する機能を数多く搭載して急成
長。月間流通総額は1,200万ドル、モバイ
ルアプリのダウンロード数は累計
300万件を超える。



SNAPDEAL
スナップディール
www.snapdeal.com



後発ながらモバイル層を取り込み
FLIPKART (p.96)、Amazon.in に
並ぶ大手ECサイトに。ソフトバン
クが6億ドル出資。2010年創業。

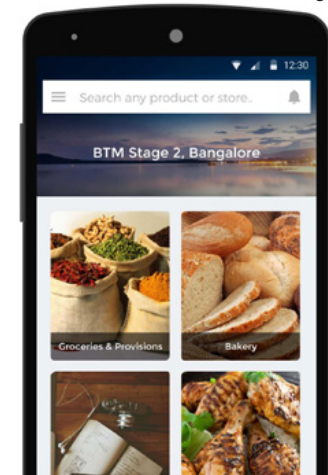
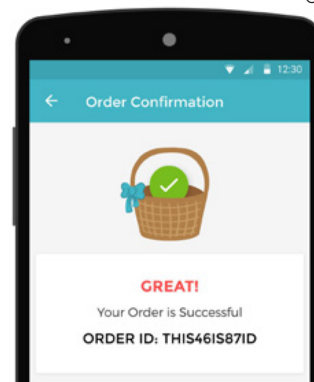


LAZYLAD
レジーラド
Android / iOS アプリ



ご近所の店からモノが届く「ネッ
トスーパー」アプリ。食品や日用
品を4クリックで注文、90分以内
に宅配。調達総額50万ドル。
2014年創業。

LAZYLADは、いわゆる「fugal
innovation」を体現したスタートア
ップといえる。最少の資源とコストで、最大
の価値を機敏に生むイノベーションのこただ。彼
らは自らのモデルを、「Eコマース、Mコマースを超
えた、N (Neighbourhood) コマース」と呼ぶ。大
型調達・買収を続けたローカルデリバリー
「PepperTap」が設立1年半で経営破綻し、同
「localbanya」が規模を縮小するなか、高度なテ
クノロジーによって、より地域に即した持続可
能性のあるイノベーションを叶えつつある
LAZYLADに、投資家たちは大き
な期待を寄せている。



PRACTO
プラクト
www.practo.com



医師検索と予約サービス。独自の
アルゴリズムとレビューによるレ
ーティングも。アジアほかブラジ
ルなど5カ国で展開。2008年創業。



HACKEREARTH
 ハッカーアース
www.hackerearth.com



インド最大のエンジニアデータベース&マッチング。Eラーニングの提供やコンペにより正確なスキル評価が可能。2012年創業。

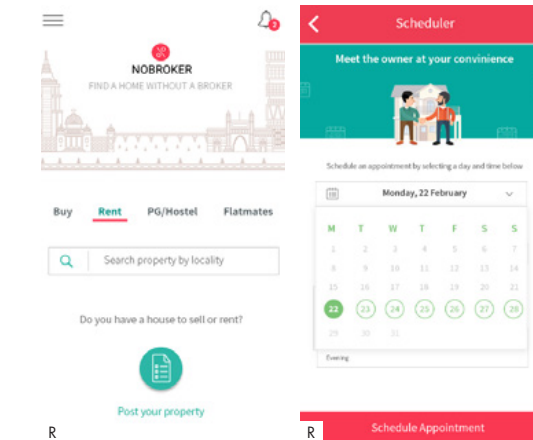
世界のソフトウェアエンジニアは1800万人、そのうち270万人がインドにいとされる。そんな理系人材の宝庫において、エンジニアのスキルを正確に査定し、ギャップのない企業マッチングを目指すのが「HackerEarth」だ。オンラインで問題を解くことによってスキルが査定され、企業はその情報をもとにエンジニアにコンタクト。採用が決定したらフィーを払う仕組みだ。企業独自のコンテストによる特定のスキルの見極めも可能。また、世界中のエンジニアによる練習問題やチュートリアルなどが大量に共有されており、教育の場としての機能も。



SHOPCLUES
 ショップクルーズ
www.shopclues.com



マーケットプレイス型ECの国内バイオンニア。GIC（シンガポール政府投資公社）などから1.3億ドルを調達したユニコーン。2011年創業。



NOBROKER
 ノーブローカー
www.nobroker.in



モバイルに特化したC2C不動産マーケットプレイス。仲介手数料無料で賃貸・売買ができる。調達総額1,300万ドル。2014年創業。



QUIKR
 クイカール
www.quikr.com



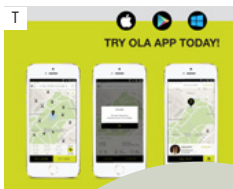
個人や零細企業が物やサービスを売買するための広告を、無料で出せるクラシファイドサイト。2008年創業のユニコーン。



ANI TECHNOLOGIES
 ANIテクノロジーズ
www.olacabs.com



タクシー配車アプリ「Ola cabs」を運営するユニコーン。ソフトバンクやセコイアなどから10億ドル以上を調達。2010年創業。



各国を席巻したUBERがインドに進出したのは2013年。高級車送迎が浸透しなかったため庶民向けサービスにシフトし、2015年には10億ドルを追加投入した。結果はどうか。市場価値50億ドル企業「Ola cabs」のシェアの半分すらも勝ち得ていないのだ。「Ola cabs」は11年の設立から5年で100都市を網羅し、車両40万台を保有。特長のひとつは、充実したドライバー支援プログラムだ。車両の少額リースや低金利ローンなどを用意し、英語が話せないドライバーのために貸与デバイスを9つの現地言語に対応させた。また、電子決済サービスも好調。

